

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立桃山台小学校
校長 田中 有佳子

中学校区におけるめざす子ども像

○豊かな心で人と協力し、将来の夢の実現に向けて努力する。

令和7年度 重点目標

◎つかえる学力の育成 基礎となる知識技能を身に付けて、それらを活用できる子どもを育てる。◎望ましい人間性の育成 正しい人権感覚と知識をもって、正しく判断行動できる子どもに育てる。◎体力の育成・心身の健康 体力向上に向けてがんばり、心身とも健康な子どもに育てる。

「確かな学び」の現状

毎朝の「読書タイム」により静謐で落ち着いた学習環境は確保できている。また児童用パソコンを効果的に活用することで、授業のユニバーサルデザイン化が進み、児童の学習意欲や学力の向上につながっている。一方、漢字の学習など基礎学力の定着への課題や「学びのコンパス」を基盤とした思考探究型の学びについては十分進んでいるとはいえない。今年度は子どもからの発問を大切に「子どもが考える」授業をおこない、ペアやグループ活動での子ども同士のつながりの中で自他ともに成長できる学習環境を整えたい。学校群では中学校区での共通の課題に目を向け、小学校で習得しておくべき基礎的な学習内容の定着を徹底させてスムーズな中学校進学へのつながるように学習面での連携を深めていきたい。

「豊かな心・健やかな体」の現状

あいさつは85%の児童が「適切にできている」と答えていたが、校外での見守り隊の方へのあいさつを自分からすすんでできている児童はまだ少ない。学校へ楽しく通学できている児童は多いが、友達関係や学習面、不規則な生活などに悩む児童も一定数いることが各種アンケートや教育相談の結果に表れている。昨年度は人権教育やいじめ防止授業、多文化理解教育に学校全体で積極的に取り組み、児童が自他のもちあじを大切に互いを尊重して協力する姿が見られた。今後もさらに縦割り活動やいじめ防止への取り組みや国際理解教育をすすめていきたい。また、体力づくりにおいては、体育委員会の取組や日頃の実践により、体力テストの大半の項目で堺市の平均値を上回ることができた。さらなる体力向上に向けて全校的な取組を実施し、体育の授業や行事の中で継続的に体力づくりを行いたい。また SNS やゲームが児童の心身に影響を及ぼす事例もあるので、生活習慣や相手を思いやる心など健全な心身の育成に取り組みたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	教科学力	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る 学習習慣(規律)を身につける	●指導を通して学びの現状をチェックしながら、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。	国語・算数の知識・技能(基礎問題)の理解度が、全児童において6割とれる児童が90%以上	確認プリント 実践報告	年度末	○ おおむね達成している。	○ おおむね目標を達成することができた。国語科の漢字を書くことについて、目標を下回っている児童が少い。今後も取り組みを進める。	○ 漢字の習得について、漢字テスト等での成果のみに終わらず、既習の漢字を実際に生活の場面で活用できるようにして欲しい。
			家庭学習の充実を図るために、児童用端末の持ち帰りを薦め、自主学習ノートや宿題に進んで取り組ませる。	「週一回以上は自主学習に取り組んでいる」という児童の肯定的評価80%以上	学校アンケート 実践報告	年度末	○ 各学年で、自主学習を宿題として取り組み続けている。	○ 週一回以上は自主学習に取り組むことができた。「家で自主学習に取り組んでいる」のアンケート項目では児童の肯定率が84%、保護者の肯定率は72%であった。宿題としては取り組みが、自ら進んで自主学習に取り組むことに対しては難しい児童もいるため、自主学習お助けプリントの作成やICTを活用した取り組みを進める。	○ 学習習慣として家庭での自主学習が定着するように学校と家庭で連携できるとよい。
			「読む」習慣をつけるために、読書タイムの充実を図るとともに、家庭学習でも読書に取り組ませる。	「週三回以上は読書をしている」という児童の肯定的評価80%程度	学校アンケート 実践報告	年度末	○ 朝の読書タイムや各学年の図書室の時間を使いながら取り組んでいる。	○ 児童の肯定率が82%となり、目標を上回ることができた。朝の読書時間・読書タイムを設定して取り組み、図書委員会でも来館者を増やす取組で成果を上げた。	○ 読書好きの児童が増えていることは好ましいことだ。漢字や語彙の習得にもつながる。
豊かな学び	授業改善	学級の児童の実態を把握し、それに 応じ、望ましい授業を実施する	★学びのコンパスに基づく探究的な学びの実践 学級の児童の実態に沿ったユニバーサルデザインに基づく授業改善を実施する。	「授業が分かりやすい」という児童の肯定的評価80%程度	学校アンケート 実践報告	年度末	○ 児童が自分の疑問や関心から課題を決める機会を作りながら、学級の児童の実態に沿った授業づくりを進めている。	○ 児童が自分の疑問や関心から課題を決める機会を学習活動に取り組みながら授業研究を行った。問題の答えを考えた時、調べたりする時、解き方や調べ方を自分で選んで決めている」のアンケート項目では児童の肯定率が84%となり、「授業がわかりやすい」の肯定率は90%を上回っており、研究の成果が出た。	○ 「授業が分かりやすい」の肯定率が高いことで学校の授業改善の成果が見られる。そういった学校の取組が保護者に十分周知されていない現状があるので今後検討が必要である。ICT活用については、電子機器と紙の両方の良さを活かして適切に使い分けて進めてほしい。
			●校内において、ICTを活用し、指導の発達段階に応じた授業づくりに取り組み、情報活用能力の向上を図る。 ●ICTを活用した授業を毎日取り組む。	系統指導表を活用し、2年生がステップ1で、4年生がステップ2で、6年生がステップ3で肯定的評価を7割とれる児童が70%以上を目指す。	アンケート 実践報告	年度末	○ ICTを活用した授業づくりを進めている。 また「桃小タイピングチャレンジ」を実施し、ランキング発表をおこなった。	○ 児童が学習で積極的にICT機器を活用でき、情報活用能力も目標基準を上回った。 キーボード操作が慣れたことで意見交換や発表がよりスムーズになった。	○
			●全教員の授業力(教科指導力)の向上のために、公開授業を行う。	全教員が公開授業を実施している	実践報告	毎学期	○ 順に公開授業・研究授業を実施している。	○ 全教員が公開授業および研究授業をおこない、事後検討を実施することができた。	○
豊かな心・健やかな体	豊かな心	コミュニケーション力を育てながら、なまづくりを進める 人権と道徳教育の効果的な推進	自ら状況を判断し、的確なあいさつができる子の育成	「あいさつを正しく行っていると思う」という児童の肯定的評価80%以上	学校アンケート 実践報告	年度末	○ 生活目標を「あいさつをしよう」として、集会で話をし、児童会活動でもあいさつ運動をすすめている。	○ 児童アンケート「あいさつを正しく行っている」の肯定率は85%で目標を上回った。しかし、「自分からすすんで」はまだ十分とは言えない状況なので引き続き指導を行っている。	○ まだ地域の方へのあいさつが少ないと感じる。学校全体でさらに取組を充実させてもらいたい。
			いじめ防止に関する授業を全学級が行う。また授業を行った際には必ずHPに授業の様子を載せる。	全学級がいじめ防止に関する授業を行っている。	実践報告	年度末	○ 順にいじめ防止の授業を行っている。	○	△ 学校のいじめ防止等の取組が保護者にあまり認知されていないので、いじめについて家庭と一緒に考えてくる等の宿題を出すなど保護者にも考えてもらう機会があれば関心も高くなると思う。
			相手の考えを聞き、自分の考えを広げることができる 正しい人権感覚を身に着け、正しく判断・行動ができる	人権と道徳教育の年間指導計画に基づき実施。適切で効果的な指導を行っている	実践報告	毎学期	○ 人権教育・道徳教育ともに指導計画にもとづき実施している。もちあじを大切に授業を実施し、取り組みを進めている。	○ 人権教育・道徳教育を計画通り実施することができた。また個人研で「もちあじ」の公開授業、校内での道徳の公開授業を実施した。授業時間外だけでなく生活場面での子どもたちの姿も含めて今後も見守り指導を継続していきたい。	○
豊かな心・健やかな体	健やかな体	体力向上とともに、からだをいっぱい動かし、自ら運動しようとする子どもの育成 健康の保持増進のための、健やかなからだづくりの指導	運動量を増やす体育授業の見直し・工夫	新体力テスト半分項目で堺市平均以上をめざす(体育カードや授業でのICT有効活用など)	実践報告	年度末	○ 男子においては半分近くの項目で堺市平均以上、女子は8割程度の項目で上回った。	○ 新体力テストでは男女ともに目標を達成した。2学期にはかけ足チャレンジを行い校内ランキング表を掲示した。3学期はなわとびチャレンジを実施し、継続的な体力づくりを実施した。	○ 調査の結果から、児童の体力が向上していることがうかがえる。
			計画的で継続的な体力づくりの実施	学級でのなわとびチャレンジ、体育大会、水泳指導、マラソンチャレンジなど計画的な体力づくり	チェックカード 実践報告	毎学期	○ 各行事滞りなく実施できている。休み時間、体育委員会が主催して取り組んだものもある。	○	○ 保健指導についても、適切におこなわれている。
			歯磨き指導、食育の推進、命の授業	歯磨き指導、出前授業など	実践報告	年度末	○ 計画に基づき、保健指導・出前授業等を順調に実施できている。	○ また保健指導では、歯磨き指導のほか、性教育、命の授業、がん教育、薬物乱用防止教室などを外部講師も活用し実施した。	○
地域協働	信頼される学校	学校の教育活動を地域と協力しながら行い、地域や保護者とともにつながりを大切にしたい学校づくりを推進する。	外部人材や校外学習、地域行事等を積極的に活用して、社会の一員として生きぬく力を育てる。 堺版コミュニティスクールを推進する。	校外学習の精選と地域との交流活動を全学年で実施する。 コミュニティスクール推進会議を年1回実施。	実践報告	年度末	○ 計画に基づき、各学年と地域で連携して各種取組を進めている。	○ コミュニティスクール推進会議への保護者の参加も増え、地域との交流活動を各学年で行うことができた。また児童会協議で全校で桃山台クレーン大作戦を新たに実施することができた。	○ 今年度は6年生と自治会で体験を伴った防災学習を一緒にできたことがとてもよかった。学校ホームページを地域の高齢者等にはなかなか見ないので、一方的な発信だけでは不十分な側面があることが今後の課題。
			ホームページ、校報、学年通信等を通して、学校の情報発信に努める。 学校アンケート(保護者用)による教育活動の検証と改善	ホームページ、校報、学年通信等 学校アンケートにおいて「学校は地域・保護者の願いに応えている」の肯定率90%以上	実践報告・学校アンケート	年度末	○ 学校ホームページ 校報 学年通信を通じて学校の情報発信を行っている。	○ 学校アンケートの肯定率より、教育方針や活動の発信については95%、保護者・地域の願いに応えているについては93%と目標値を上回った。	○

校長より(年度末) 確かな学びについては、堺市「学びのコンパス」を意識した授業改善をおこない、ICTを有効に活用しながら児童が主体的に学習する場面が多く見られた。一方で基礎学力の定着には課題が見られるので徹底を図りたい。読書推進については成果がみられた。豊かな心・健やかな体についてはもちあじ学習や平和学習、多文化共生で取組を広げることができ、体力の向上にも成果がみられた。地域協働についても児童発信の新たな取組を実施し、地域や保護者との連携が深まったと考える。

学校関係者評価者から(年度末) それぞれの分野において全体的にはしっかりと取組が行われていると感じた。教職員の努力で校内や児童の様子での成果は見られていると思う。一方、そういった学校の改善状況や時代と共に変化している教育活動について、保護者や地域に十分届いていないの点も残念なことなので、子どもたちのために今後さらに学校教育と家庭教育・地域教育との連携が深まるとよいと思う。